

4号議案 グループ報の発行形態について

京都地域グループ会員へのアンケート結果を踏まえ、以下の通りグループ報の電子送信および冊子体の廃止を提案します

・廃止案

廃止巻号：2021年6月号までで廃止

冊子体の発行：国立国会図書館への納本分を除き、会員向けの発行を廃止（機関への発行はありません）

電子公開方法：京都地域グループウェブサイトでID/パスワード方式による公開。半年のメンバーゴののち公開する

ID/パスワード連絡方法：メールでの送信（変更時も同様）

地域グループ活動費については、現時点ですぐの変更はしないが、半数の会員が値下げを希望したことを重視し、今後の検討課題とする。

会員アンケート集計結果

回答者数：6名

- 郵送される冊子を読んでいますか。(選択肢式)
 - 毎号すぐに 3名
 - 読まない時もある 1名
 - 気が向いたら読む 1名
 - 読んでいない 1名

- 2020年2・4月号と6月号はコロナ対策のため、電子送信を実施しました。このことについてご意見があればお知らせください。(自由記述)
 - 良い取り組みと思います。
 - 知らなかった

- 冊子体の廃止案について、どのように思われますか。
 - 賛成 6名
 - 反対 0名
 - 自由記述

- 現在冊子体の発行について、印刷費・発送費が年間一人当たり700円ほどかかっています。冊子体を廃止することでこの金額が支出から減ることになりますが、地域グループ活動費をどのようにされることを希望しますか(地域グループ活動費の変更には時間がかかりますので、すぐの変更にはなりません)
 - 現状維持の2000円でよい 2名
 - 500円下げて1500円とするのがいい 2名
 - 1000円下げて1000円とするのがいい 1名
 - その他 「お任せします。」

- グループ報に対してご意見があればお知らせください
 - 電子化など形式面を変化させつつ、地域グループ独自の活動を共有したり記録したりする媒体としての意味は大きいと思いますので、何らかの形で存続すると良いと感じています。
 - いつもありがとうございます。
 - 編集お疲れ様です。

- 地域グループ運営全般についてご意見があればお知らせください